**『JSMDレビュー』同意書**

以下を確認し，☑を入れ，全著者の署名とともに日本商業学会編集委員会に提出してください。

**研究倫理・著作権・引用について**

* 当該論文および当該研究では，剽窃，分析操作，データの捏造を始めとする一切の研究不正行為は行っておらず，学問上の誠実性を保持し，研究倫理のガイドラインを遵守している。
* 当該論文は未公刊であり，二重投稿や剽窃には当たらない。
* 当該論文は日本語以外の言語で公刊された研究の翻訳ではない。
* 当該論文および当該論文の主要な部分がフルペーパーとして学会等のプロシーディングスに掲載されたことはなく，電子的にも紙媒体でも，参加者以外には公開されていない。
* 論文や図表等の引用に許可が必要な場合，文書で許諾を得ている。
* 引用する際には，出典とページを明記している。

**論文の書式等について**

* 論文の文字数は 1万字以上，3万字以下である（ただし，注と参考文献は文字数に含まない）。
* タイトルおよびサブタイトルは，表現も長さも論文として適切である。
* 共著の場合，全著者名と所属が明記されている。
* 要約（アブストラクト）は450文字以内，キーワードは5つ以下に収まっている。
* 要約（アブストラクト）の次のページに，カーバレターを書いている。
* カーバレターは，「研究の独創性がどこにあるか」，「どのように会員間の議論の活性化が期待できるか」が分かるように記述されている。
* 本文は日本語で，A4サイズの用紙に上下25ｍｍ，左右30mmの余白を取り，規定のテンプレートで指定された文字フォントおよびサイズを使用して執筆されている
* 原稿は，本文，注，参考文献，付録の順で書かれている。図表は別ファイルで作成している。
* 見出しは規定のテンプレートどおりに付けられている。
* 略語は適切に使用し，明確に説明されている。
* 注の使用は最小限に留め，連番を付与している。
* 参考文献はAPAスタイルを使用し，本文中の引用と整合性が取れている。
* 原稿のページには連番が正しく付与されている。
* 図表は本文の挿入個所を明示して別ファイルで作成のうえ，図表ごとに改ページして連番と見出しを付与し，必要に応じて出所と注を入れている。図は縮小時にも判読可能なサイズで作成し，表の罫線は極力少なくしている。
* 日本語が母語でない場合，ネイティブ・チェック済みである。
* 個人情報，コメント，変更履歴等はすべて消去されている。
* 原稿，図表，同意書の3つのファイルを用意し，論題から主要な1語を選び，英訳した単語(xxxx)を用いて，次のようにファイル名を付けている。

manuscript\_xxxx，figures&tables\_xxxx，agreement\_xxxx

* すべての著者がこの文書に署名済みである。

**研究倫理および著作権許諾にかかわる同意書**

論題:

著者全員が，上記チェックリストの全項目を確認し，全責任を負います。著者は，著作権，知的財産権を始め，他者のいかなる権利も侵害していないこと，剽窃，改ざん等の研究不正を行っていないこと，人や財産に一切の危害や損失を与える可能性がないことを保証します。

著者は，本保証の不履行について，日本商業学会および編集委員会に対し，防衛し，補償し，損害を与えないことに同意します。

著者は，著作権または研究倫理に違反する行為が明らかになった場合，『JSMDレビュー』からの原稿の撤回や削除につながる可能性があることを了解します。

著作権法に定められた著作権は著者に帰属しますが，本同意書をもって，全著者の同意を得て，日本商業学会に著作権の独占的利用権を許諾します。著作権のうちの複製権と公衆送信権についても，著作者が学会に対して独占的利用権を許諾します。日本商業学会が複製や公衆送信を第三者に委託した場合も同様です。ただし，この許諾は『JSMDレビュー』刊行の目的に限ります。

著者 (1): 　　　 署名:

著者 (2): 　　　 署名:

著者 (3): 　　　 署名:

著者 (4): 　　　 署名:

著者 (5): 　　　 署名:

著者 (6): 　　　 署名:

著者 (7): 　　　 署名:

著者 (8): 　　　 署名:

日付　　　　年　　月　　日